

2008年2月15日

三菱重工業株式会社リージョナルジェット機（MR J）向け
『フライト・コントロール・アクチュエーション・システム』を受注

ナブテスコ株式会社（本社：東京都港区、社長：松本 和幸）は、次世代のリージョナルジェット機MR J（Mitsubishi Regional Jet）向け飛行制御システムの重要構成部品である『フライト・コントロール・アクチュエーション・システム』を三菱重工業株式会社（本社：東京都港区）より受注しました。

当社は、航空機の飛行姿勢を制御するフライト・コントロール・アクチュエーターにおいて多くの実績があり、同システムの国内シェアはトップを有します。

今回受注した製品は、飛行制御に重要な役割を担う主翼／尾翼／水平尾翼の可動翼であるエルロン／スポイラー／ラダー／エレベーターを駆動するアクチュエーター及び制御機器です。アクチュエーターの制御方式は、最新技術を採り入れたフライ・バイ・ワイヤー方式で極めて信頼性の高い制御方式を採用しています。

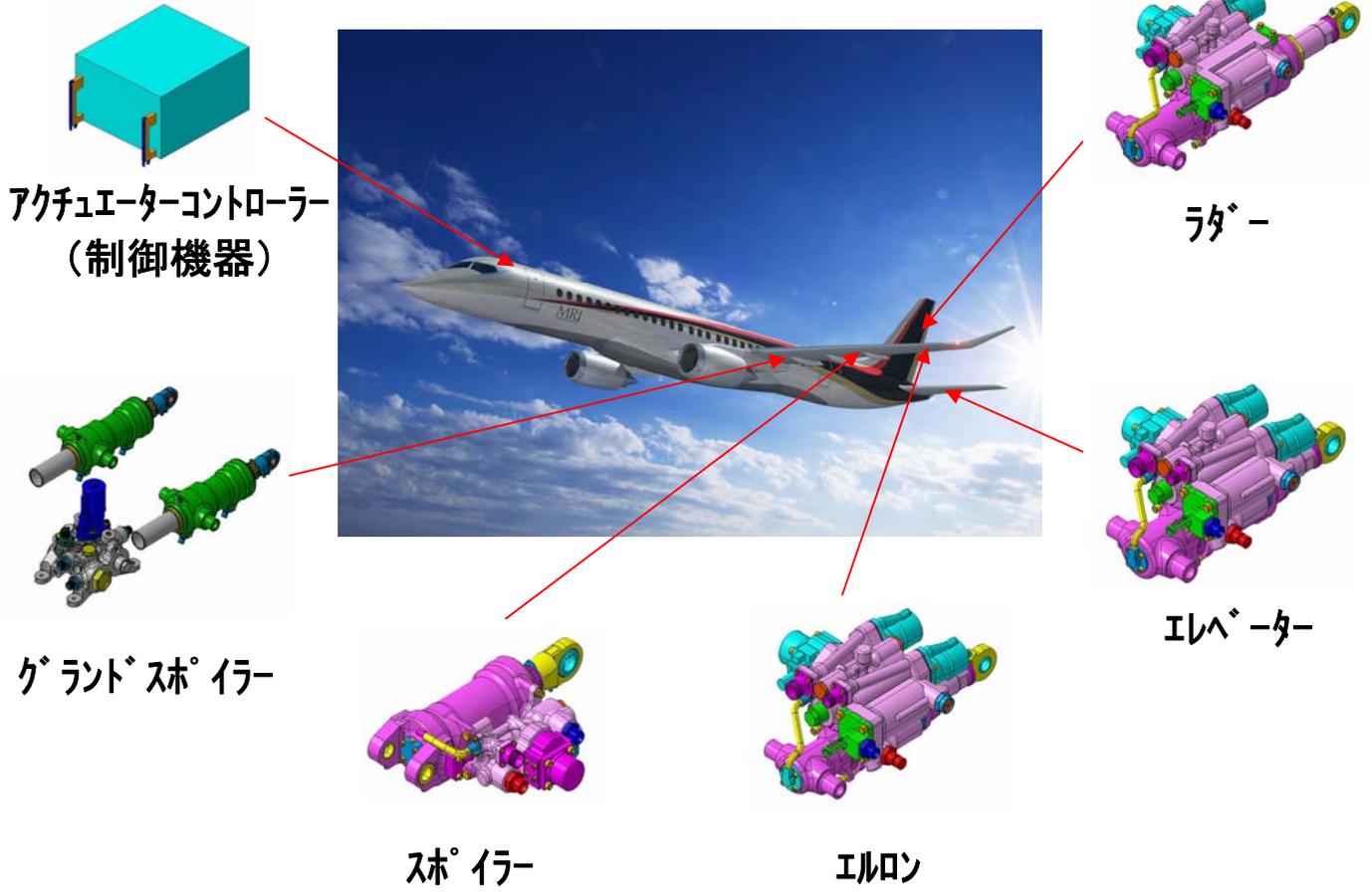
今後、システム開発を経て2012年より量産製品の納入を開始する予定です。

【三菱重工業リージョナルジェット機（MR J）について】

MR Jは、三菱重工業が新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業として開発を進めてきた、世界最高レベルの運航経済性と客室快適性を兼ね備えた70～90席クラスの最新鋭小型ジェット旅客機です。運航開始は2013年を予定しています。

MR Jとエルロン／スポイラー／ラダー／エレベーター／制御機器の配置図は、別紙のとおりです。

【MRJとエルロン／スポイラー／ラダー／エレベーター／制御機器の配置図】



ナブテスコ株式会社 総務部広報担当

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号 TEL 03-3578-7070 FAX 03-3578-7237